

選定『ふくしまの水文化』（Ⅱ）

特に後世に伝えたいふくしまの水文化

61件

No.	テーマ	種類	名称	市町村	内容
1	生活の中の水文化	祭事・信仰等	<small>かなざわ はやま</small> 金沢の羽山ごもり	福島市	厳冬のさなか水垢離をとって豊作を祈る厳かな神事
2			<small>おかやま</small> 岡山の水かけ祭	福島市	勇壮な水かけと桶入れで穢れを払う神事
3			遠藤ヶ滝	大玉村	山岳修行の道場として多くの修験者が訪れた不動尊霊場
4			横沢の麓山まつり	郡山市	川での厳しい潔斎をとる少年主体の祭り
5			西方水かけまつり (水祝い)	三春町	井戸水、そして田の泥水までもかけ合い、無病息災、子孫繁栄、五穀豊穰を祈る祭事
6			<small>たかしみず</small> 高清水のひな流し	三島町	和紙で作ったひな人形に女の子の健やかな成長の願いを込めて、川に流す伝統の行事
7			<small>いさすみ</small> 伊佐須美神社の <small>たうえしんじ</small> 田植神事	会津美里町	日本三田植の一つとされる田植え祭り、田植歌は中世歌謡の名残をとどめる
8			へびの御年始	会津美里町	水の神様である龍をかたどってワラのへびを作り、五穀豊穰、無病息災、灌漑水の豊かさを祈願
9			鹿島御子神社の 「火伏せの神事」	南相馬市	家々に水をかけ、さらには神職にまで水をかけて祝う小正月の祭事
10			<small>そうまのまおい のまがけ</small> 相馬野馬追(野馬懸)	南相馬市	馬を捕らえて神前に奉納するという古代からの流れをくむ神事
11			<small>ひよしじんじや はまおり</small> 日吉神社の浜下り	南相馬市	神輿に様々な芸能などがお供して浜に下り、神の再生を願って潮垢離を行う神事
12			大滝神社の浜下り	檜葉町	川の上流で水垢離をとり、浜下りして潮垢離。古い姿を残す神事
13			<small>かぼうきとうさい</small> 火防祈禱祭 裸参り	浪江町	極寒の時期に白装束の若者たちに、住民が桶の水をひしゃくで浴びせかけ、火伏せを念じる祭事
14			大倉の葉山祭り	飯舘村	厳格な水垢離と火渡りで身を清め、作柄占いなどを行う神事
15			沼ノ内の水祝儀	いわき市	浴衣一枚の初婿に水をかけて祝う火伏せと豊穰を祈る祭事

16	生 活 の 中 の 水 文 化	祭事・信仰	磐城大国魂神社の御潮採り神事	いわき市	神輿の屋根だけを残すほどに深く海に浸す潮垢離をする神事
17			飯野八幡宮の流鏝馬	いわき市	騎士は馬ともに海岸に行って潮水で清め、参道を馬場とし馬上から三つの的を射る祭り
18		伝説・伝承等	半田沼の赤べこ伝説	桑折町	半田沼の主の赤べこに娘が見そめられ、沼の底に連れて行かれてしまったという伝説
19			山ノ井清水	郡山市	采女伝説発祥の地、春姫が身を投げたといわれる清水
20			無行沼（無行帰沼）	喜多方市	一度ここに来て生きて帰るものはないという意味で無行と名付けられた伝説の多い沼
21			大蛇伝説	金山町	村人が困っていた沼沢湖の大蛇を当時の領主佐原十郎義連が退治したという伝説
22			作見の井戸	飯舘村	寒の節の水量でその年の米の豊凶がわかるとされる井戸。
23			<small>かしこぬま りゆうもんじ</small> 賢沼と龍門寺の井戸	いわき市	賢沼では、今に至るまで殺生が禁じられており、その由来が伝わっている沼
24			波立海岸と鰐ヶ淵の伝説	いわき市	娘に恋慕した鰐の伝説
25			湧水	<small>いわい</small> 岩井の清水	本宮市
26		六郷清水		田村市	坂上田村麻呂にゆかりの伝説がある清水
27		<small>こわしみず</small> 小和清水		石川町	和泉式部が産湯を浴びたと伝えられる清水
28		空也清水		会津若松市	空也上人の伝説のある清水
29		<small>こわしみず</small> 強清水		会津若松市	親は諸白、子は清水といわれる清水
30		龍ヶ沢湧水		磐梯町	古くから大規模な雨乞いの儀式が行われるなど地域にとって重要な湧水
31		<small>いわほしじんじや</small> 磐梯神社宝の水		猪苗代町	磐梯山の麓に鎮座する磐梯神社境内の湧水
32		<small>くすりみず</small> 薬水		下郷町	高倉以仁王伝説もある様々な病に効くと伝えられる湧水
33		<small>あかいだけ</small> 赤井嶽の弘法水		いわき市	弘法大師伝説がある眼病に効くとされる霊泉

34	水場・水車	代官清水	西会津町	会津藩野沢代官所があったことから名付けられ、地域の共同の水場となっている清水	
35		前沢集落の水場とバツタリ小屋	南会津町	集落を流れる水路に設けた生活用の水場と水を利用して穀物等搗くバツタリ	
36		渡し	鮎滝渡船場跡	福島市	古来、信夫・伊達の両郡を結ぶ交通の要衝。渡しの設備が今なお残る渡し場跡
37		その他	トチ餅	南会津町、金山町、三島町 他	アクが強くそのままでは食べられないトチの実を手間と時間をかけてアク抜きする先人の知恵
38	水に 関 わ る 産 業	伝	上川崎手漉き和紙	二本松市	千年以上の歴史を誇る手漉き和紙
39		統	からむし織り	昭和村	本州唯一のからむしの産地で、600年の昔から代々受け継がれてきた伝統と技術の織物
40		芸	遠野和紙 (いわき和紙)	いわき市	約500年の昔からの伝統的製法を今に守り伝えている和紙
41		舟 運	阿武隈川の舟運 (福島河岸、伏黒河岸寄蔵を含む)	福島市 伊達市 他	江戸時代、年貢米を江戸や大坂に輸送する廻米のため開発。交通の大動脈となっていた舟運
42			阿賀川の舟運	喜多方市	会津藩の大阪への廻米を運ぶなど、内陸部の人々の生活を支える大動脈となっていた舟運
43		伝統漁法	伊南川・只見川の漁具・漁法	南会津町、只見町	マス漁のヒッカギ・マスドウ、ハヤ漁のセノヨボリ漁など様々な漁具・漁法
44		治水施設	荒川の歴史的治水・砂防施設	福島市	近世の霞堤、水防林、近世以降の砂防堰堤、床固工など歴史的施設が、現在も機能する施設群
45		利 水 施 設	西根堰	福島市	近世初期に先行する技術・工法によって長水路と緩勾配を実現し、不毛の原野の西根郷を開発した堰
46			三ツ森貯水池と長井坂円形分水装置	大玉村	長年続いた水争いの解決と平等な分水に資した施設
47	安積疏水関連施設 (麓山の飛瀑、十六橋水門を含む)		郡山市、猪苗代町 他	安積原野開拓のための、国営第一号の農業水利事業で、郡山市発展の基礎となった疏水	
48	戸ノ口堰		会津若松市	農業だけでなく防火など地域用水としても重要な堰	
49	本木上堰		喜多方市	江戸時代中期の技術の高さを示す山腹水路。当時のままの姿が多くのところに残されている	

50	水 に 関 わ る 産 業	利 水 施 設	はにたぜき 土田堰	猪苗代町	会津松平藩の藩祖保科正之を祀る土津神社の神社領開拓のための水路
51			三貫堰	会津美里町	地頭が堰揚げのたびに経費の一部として三貫目を百年も続けて出してくれたことから名付けられた堰
52			えんぞうぜき 円蔵堰	下郷町	弓田円蔵が私費 2,500 両を出し、難工事の末に完成した堰
53			ごしほう 御仕法によるため池 (宗兵衛堤)	相馬市	二宮尊徳の農村復興策（御仕法（報徳仕法））により改修された堤
54			御仕法による用水路 (七千石用水、萱浜用水、小高江)	南相馬市	二宮尊徳の農村復興策で進められた大規模な水利事業
55			あいやえすじ 愛谷江筋	いわき市	夏井川水系の代表的な農業用水路
56		いわきおがわえすじ 磐城小川江筋	いわき市	夏井川左岸の基幹的水路。木工沈床など先駆的な技術を今に伝える	
57		産 業 施 設	沼上発電所、竹ノ内発電所、丸守発電所	郡山市	安積疏水の水を利用した水力発電所。郡山市の工業の発展に大きく寄与
58			谷津田川流域水車跡群	白河市	江戸から昭和にかけて、精米や粉ひきに使われた数多くの水車。一部を復元
59			東京電力(株)猪苗代第二発電所	会津若松市	純国産の製品と技術で設置された水力発電所。建屋は、建設当時の姿をほぼそのまま留めている
60		生活 関連 施設	南湖公園	白河市	白河藩主松平定信により土民共楽の理念のもとつくられた、我が国最古の公園
61			大内宿自然用水	下郷町	街道の両側に水路が配置され、山からの自然水を取り入れ、生活用水として利用されている用水